

取付説明書

AUDI

- A4 (8W) セダン、Avant 2016 ▶
- A4 (8W) Allroad quattro 2017 ▶
- A4 PA (8W) セダン、Avant 2019 ▶
- A4 PA (8W) Allroad quattro 2019 ▶
- A5 (8W) Coupé、Sportback 2017 ▶
- A5 (8W) Cabriolet 2017 ▶
- A5 PA (8W) Coupé、Sportback 2020 ▶
- A5 PA (8W) Cabriolet 2020 ▶

固定／機械式取外し可能トレーラー カップリング用
ワイヤリング ハーネス キット、付属品 8W0.055.204
Audi 純正アクセサリー

発行 01

JP



目次

1	一般的な注意	1
2	拘束システムの着火式の電気・機械系統構成部品に関する安全規定	2
2.1	一般的な安全規定	2
2.2	エアバッグ、シートベルト プリテンショナー、バッテリー セパレーター（着火式の構成部品）の保管、輸送、廃棄	3
3	トレーラー カップリング (AHV) に関する注意 - 取付けと使用	4
4	構成部品一覧	5
4.1	電気構成部品一覧	5
4.2	その他の必要な部品	6
5	取付けの概要および締付けトルク	7
5.1	ラゲージ コンパートメントの電気系統	7
5.2	Audi A5 Cabriolet ラゲージコンパートメントの電気系統	8
6	準備作業	9
6.1	バッテリーの接続を外す	9
6.2	以下の部品の取外し	9
6.3	コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-用ホルダーの取外し	10
6.4	ラゲージ コンパートメント内左のヒューズ ホルダーの取外し	11
7	トレーラー用ソケットの取付け	12
7.1	ソケットのソケット ホルダーへの取付け	12
7.2	後付けケーブル ハーネス「ソケット」の車内での取回し	13
8	電気接続	14
8.1	後付けケーブル ハーネスの取回し	12
8.1.1	ケーブル ハーネスの取回し (Audi A5 Cabriolet の場合)	15
8.1.2	後付けケーブル ハーネス「ソケット」の取回し	15
8.1.3	後付けケーブルハーネス「車内電源」の 6 ピン コネクターの準備	15
8.1.4	後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の取回し	16
8.2	後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の接続	16
8.2.1	コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット部 -J393-のコネクター割り当て	17
8.2.2	CAN バスの接続	17
8.2.3	ブレーキ ランプ信号／端子 15 の接続	19
8.3	電圧供給の確立	22
8.4	ホルダーとコンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-およびトレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-の取付け	24
8.4.1	ホルダーとコンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-の取付け	24
8.4.2	ホルダーとトレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-の取付け	24
9	最終作業	25
9.1	車両を元通りに完全組立て	25

本書は著作権保護されています。
利用には著作権者の同意が必要です。



9.2	バッテリーを接続する	25
9.3	トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-のコーディングの調整	25
9.4	セットアップと機能点検	25
9.5	クーリング システムの調整	26





1 一般的な注意

保守整備または修理作業を行う前に、以下の注意をよくお読みください。

⚠ 警告！

この記号が付いた説明は、安全に関する情報を含み、事故やけがの発生する可能性を示しています。

⚠ 注意！

この記号が付いた説明は、車両が損傷する可能性があることを指摘しています。

ℹ 注：

この記号が付いた説明は、追加の情報を示しています。

⚠ 注意！

トレーラー モードはクーリング システムに高度な要求をします。

◆ クーリング システム⇒**ページ 26** は車両の動作条件に適合していなければなりません。

取付けには専用工具が必要になります。取付けが不適切な場合、車両または取付け部品が損傷する恐れがあります。

⚠ 警告！

安全上の理由から、トレーラー カップリングは必ず専門技術者が取り付けてください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。

追加の変更が必要な場合があります。事故が発生する恐れがあります。詳細な情報は、この取付説明書に記載されています。

この取付説明書に反した場合に対しては、AUDI AG は責任を負いかねます。



2 拘束システムの着火式の電気・機械 系統構成部品に関する安全規定

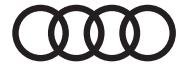
2.1 一般的な安全規定

着火式の構成部品は以下のとおりです。

- ◆ エアバッグ ユニット
- ◆ シートベルト プリテンショナー
- ◆ シートベルト フォースリミッター
- ◆ バッテリー セパレーター

一般的な事項

- ◆ 検査、取付けおよび修理については、訓練を受けた者以外による作業は認められません。
- ◆ エアバッグ ユニットには交換時期を設けていません。
- ◆ 検査ではテストランプ、電圧計、抵抗計を決して使用しないでください。
- ◆ 着火式の構成部品は、メーカーが承認した⇒ 車両診断スターを使用して、それらの部品を取り付けた状態でのみ検査できます。
- ◆ 着火式の構成部品およびエアバッグ コントロール ユニット部 -J234-への作業を行う場合、イグニッションをオンにした状態でバッテリーのグラウンド ケーブルを外す必要があります。続いてマイナス ターミナルのカバーを外します。
- ◆ バッテリー -A-の接続を外してから 10 秒間、時間を置く必要があります。
- ◆ バッテリー -A-の接続は、イグニッションをオンにした状態で行う必要があります。この時に、車内に誰もいないことを確認してください。車内にバッテリー -A-のある車両の場合は例外です。この場合は、エアバッグやシートベルトの作動範囲内にいないでください。
- ◆ バッテリー → [ページ 25](#) 接続後の処置を順守してください。
- ◆ 拘束システムの着火式の構成部品を取り扱う前に（電気コネクターを外すなど）、作業者は静電気を放電しておく必要があります。静電気の放電は、ドア ストライカーに軽く触れるなど、アースされた金属部品に触れることによって行います。
- ◆ 点火した拘束システムの着火式の構成部品に触った後は、手を洗ってください。
- ◆ 着火式の構成部品を開いたり、修理したりしないでください。原則的に新品の部品のみ使用してください（けがをする恐れがあります）。
- ◆ 着火式の構成部品が落下して硬い物に衝突したり、損傷が見つかった場合は、装着してはなりません。
- ◆ 着火式の構成部品の取付けは、輸送用ケースから取り出してからすぐに行います。



- ◆ 作業を中断する場合は、着火式の構成部品を輸送用ケースに戻します。
- ◆ 着火式の構成部品の放置は認められていません。
- ◆ 拘束システムの着火式の構成部品を接続する場合、車内にいるのは作業担当者のみにしてください。
- ◆ 着火式の構成部品を取り扱う際は油脂や洗剤などを使用しないでください。
- ◆ オイル、油脂、塗料、ペイント、溶剤など、エアバッグの表面に汚れが染み込んだ場合、必ずエアバッグ ユニットを交換してください。
- ◆ 着火式の構成部品は、たとえ短時間でも 100 °C 以上の温度にさらさないでください。

2.2 エアバッグ、シートベルト プリテンショナー、バッテリー セパレーター（着火式の構成部品）の保管、輸送、廃棄

- ◆ 保管は、各国の法律に従って行ってください。
- ◆ 輸送は、梱包、マーク、ラベル、付属書類で詳しく指示されている各国の法規および国際法規に従って行ってください。
- ◆ 未点火の着火式の構成部品は、元の梱包を行った国の法律に従って、正しく使用してください。ご質問がある場合は、輸入業者にお問い合わせください。
- ◆ 完全に点火された着火式の構成部品のみ、産業廃棄物として処分することができます。

⚠ 警告！

これは、ヴァンケル プリテンショナー原理に基づいて作動するシートベルト プリテンショナーには該当しません。このようなシートベルト プリテンショナーは、未点火の着火式の構成部品（エアバッグなど）と同じように取り扱います。

背景となる理由：ヴァンケル プリテンショナー原理に基づくシートベルト プリテンショナーは、あらゆる着火レベルで着火するかを工具で点検できません。



3 トレーラー カップリング (AHV) に関する注意 - 取付けと使用

トレーラー カップリングは、ボール カップリングを装備したトレーラーの牽引と、カップリング ボールへの取付けが許可されているキャリアの使用を可能にします。

EC 諸国および EC 非加盟の諸国では、現地で適用される規定に従ってください。

道路状況が許す場合のみに、道路状況に合わせて使用するようにしてください。指定の目的に沿わない使用は禁止されています。

取付け

⚠ 警告！

安全上の理由から、トレーラー カップリングは必ず専門技術者が取り付けてください。そうしないと、事故が発生する恐れがあります。

- ◆ 交換部品が必要な場合、必ず専門技術者が無傷の純正部品に取り付けてください。そうしないと事故が発生する恐れがあります。
- ◆ 取付けは AUDI AG/Volkswagen AG のガイドラインに従って実施してください。そうしないと事故が発生する恐れがあります。
- ◆ トレーラー カップリングの改造は禁止されています。改造を行うと、使用許可が取り消されます。事故が発生する恐れ、および法的責任を問われる恐れがあります。
- ◆ 必ず、車両メーカーによって標準で許可されている固定点を使用してください。そうしないと事故が発生する恐れがあります。

使用

⚠ 警告！

トレーラー モードでは、車両の走行特性が変わるために、運転者は特に注意する必要があります。そうしないと事故が発生する恐れがあります。

- ◆ “「トレーラー モード」”の章 (⇒ 取扱説明書) にある注意事項を確認してください。そうしないと事故につながる恐れがあります。
 - ◆ トレーラー用に車線維持支援装置を使用する場合、カップリング ボールに油分が付いていないことが大切です。取扱説明書の注意事項を確認してください。そうしないと事故が発生する恐れがあります。
- ボールヘッドの直徑を定期的に点検してください。
- ◆ いずれかの箇所で直徑が 49 mm に達した場合、安全上の理由からトレーラー カップリングの使用が許可されなくなります。必要に応じて専門ディーラーにお問い合わせください。そうしないと事故が発生する恐れがあります。

トレーラー カップリングを使用しないときは、安全上の理由からボール式バーを内側に旋回させておくことをお勧めします。そうしないと事故が発生する恐れがあります。



4 構成部品一覧

4.1 電気構成部品一覧

全車両共通。

1 - 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」

- LL/RL
- 1x

2 - ポリエチレン袋

- 1x

i 注:

同梱されています。

□ ケーブル タイ (5 本)

□ 長ネジ (3 本)

□ ボルト、ショート (3 本)

□ ナット (3 個)

□ スプリング ワッシャー (3 個)

3 - ポリエチレン袋

- 1x

i 注:

ワイヤー ハーネス「車内電源回路」に固定されています。

内容

□ 3 ピン ソケット ハウジング (ブラック、1 本)

□ 3 ピン ソケット ハウジング (ホワイト、1 本)

4 - ヒューズ 25A

- 2x

5 - ヒューズ 15A

- 2x

6 - 後付けケーブル ハーネス「ソケット」

- 1x

7 - ソケット ハウジング「軸方向」

- 1x

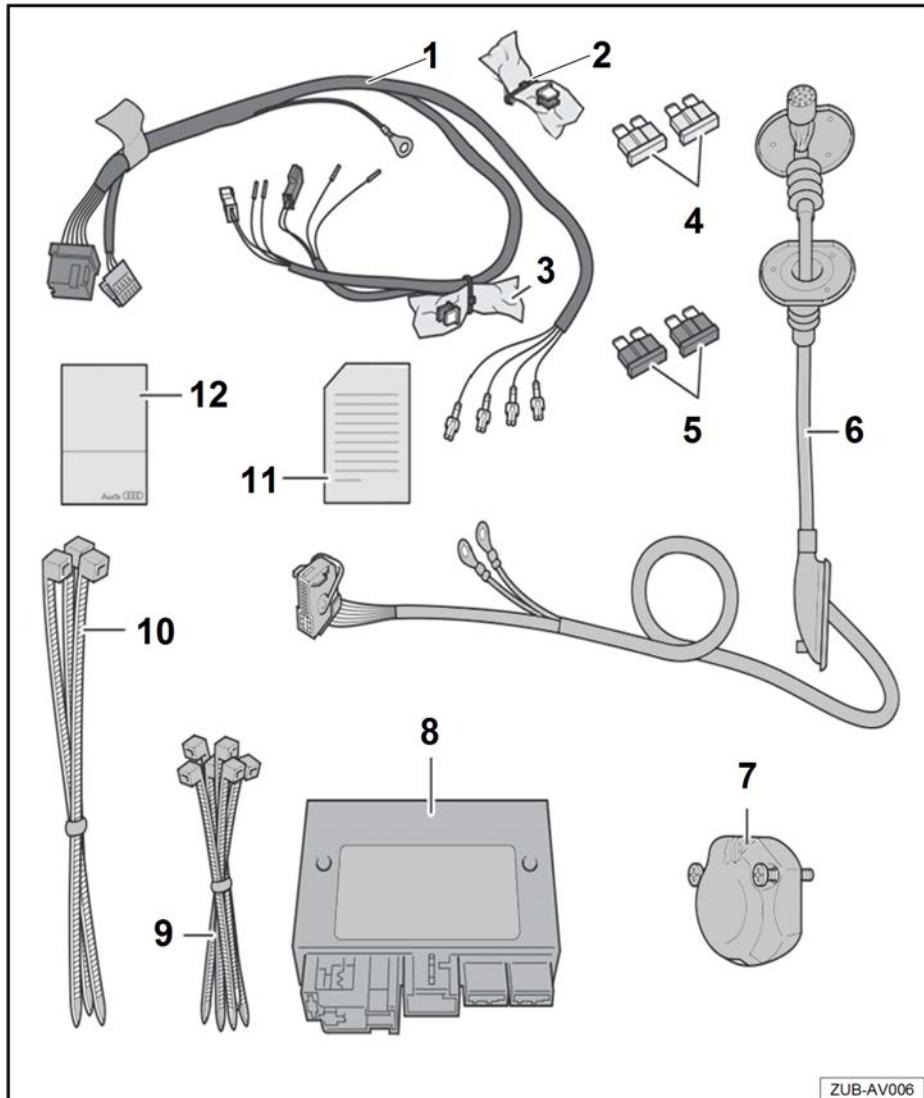
8 - トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-

- 1x

9 - ケーブル タイ

- 150 mm

- 5 本





10 - ケーブル タイ

- 300 mm
- 3 個

11 - 安全上の注意書き

- 1x

12 - WCM オブジェクト

- 1x

4.2 その他の必要な部品

全車両共通。

1D8 装備（トレーラー カップリング用事前装備）がない車両の場合は、必要に応じて以下を使用

ホルダー-1- ⇒ 電子部品カタログ

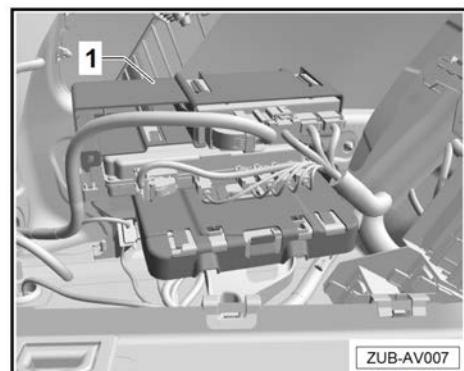
Audi A5 Cabriolet を除くすべての車両に該当。

ラゲージ コンパートメント ヒューズ ホルダー内のヒューズ
ホルダー -E (レッド) - 非装備車の場合、必要に応じて使用

注:

ガソリン車の場合、装備のバリエーションおよびエンジンのバリエーションによっては、ヒューズ ホルダー -E (レッド) - がリレー / ヒューズ ホルダー内に取り付けられていないこともあります。

追加のヒューズ ホルダー 8W0.055.307* ⇒ 電子部品カタログ





5 取付けの概要および締付けトルク

5.1 ラゲージ コンパートメントの電気系統

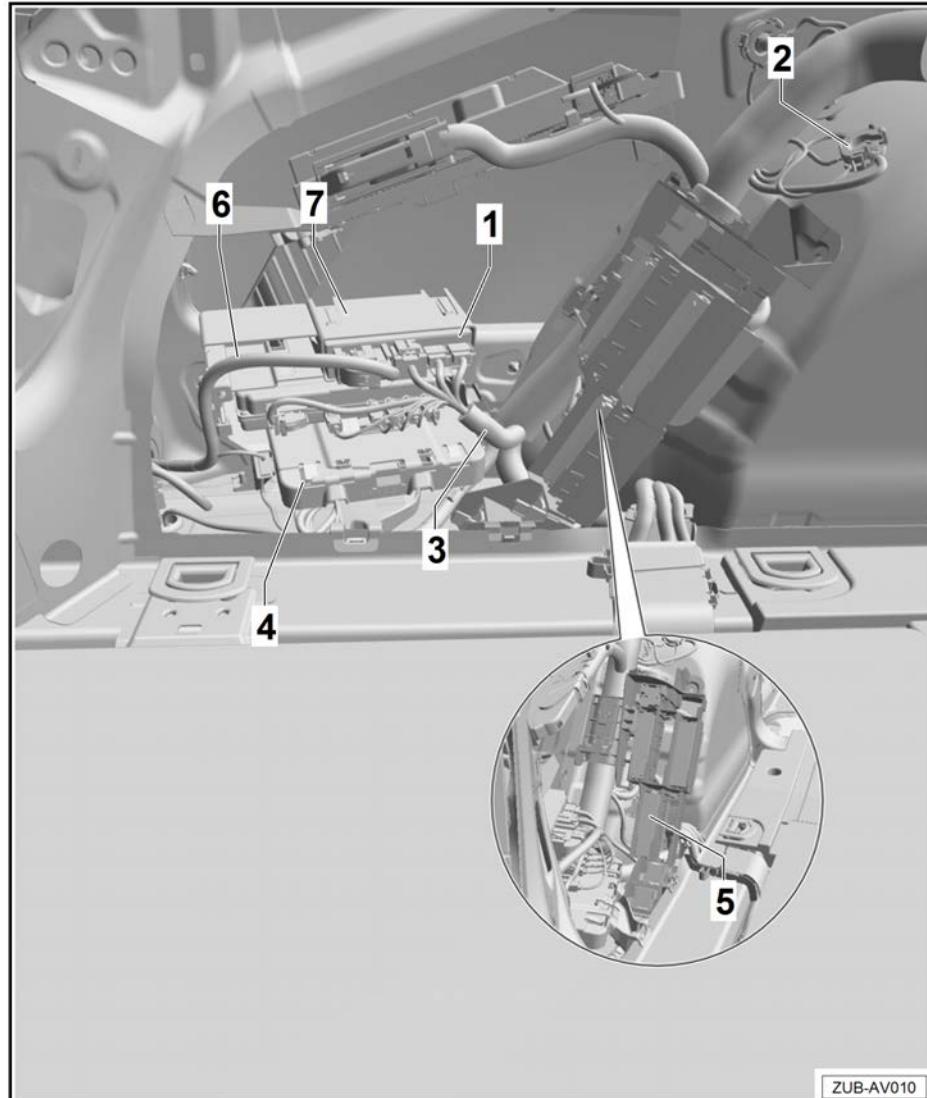
Audi A5 Cabriolet を除くすべての車両に該当。

- 1 - トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-
- 2 - ラゲージ コンパートメント内左のアース ポルト 9 Nm
- 3 - 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」 取付け
- 4 - コンビニエンス システム センタラル コントロール ユニット -J393- カバーの下
- 5 - ラゲージ コンパートメント内左リヤのヒューズ ホルダー

i 注:

装備バリエーションに
注意してください。
⇒ページ 6

- 6 - 後付けケーブル ハーネス「ソケット」
- 7 - トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-のホルダー その他の必要な部品
⇒ページ 6





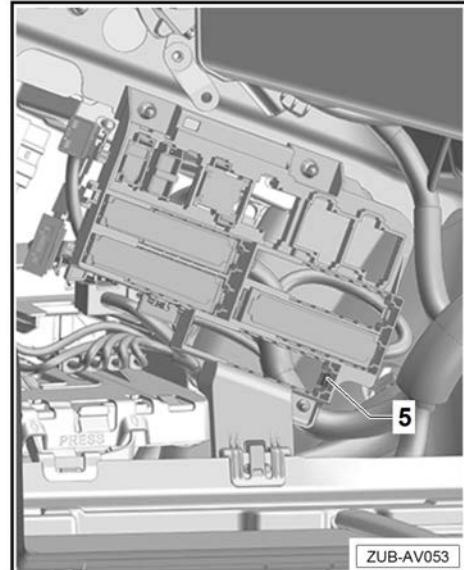
5.2 Audi A5 Cabriolet ラゲージコンパートメントの電気系統

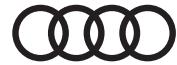
Audi A5 Cabriolet にのみ該当。

ラゲージ コンパートメント内左リヤのヒューズ ホルダー -5-

i **注:**

- ◆ A5 Cabriolet のヒューズ ホルダー -5- は形状が変更されていますが、機能は同じです。
- ◆ その他のコンポーネント -1~7- は同じで、図 [⇒ページ 7](#) で確認できます。





6 準備作業

全車両共通。

6.1 バッテリーの接続を外す

- バッテリーの取外し ⇒ 電気系統: Rep. Gr. 27; バッテリー;
バッテリーの取外し / 接続



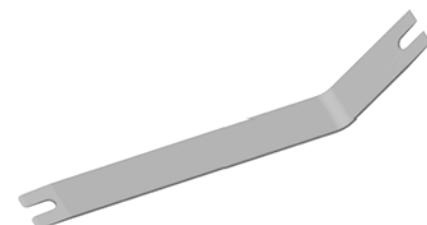
- ◆ 車両の電気系統で作業を行う前にバッテリーが取り外され、電気系統が保護されていることを必ず確認してください。
- ◆ バッテリーの陰極端子 (-) のみ外します。
- ◆ バッテリーの陽極端子 (+) は、バッテリーを車両から取り外す場合のみ外すことができます。

6.2 以下の部品の取外し

必要なスペシャル ツール、ワークショップ機器

- ◆ プレス レバー -80 - 200-

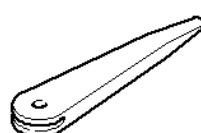
80-200



W00-0353

- ◆ 取付けウェッジ -3409-

3409



W00-0016

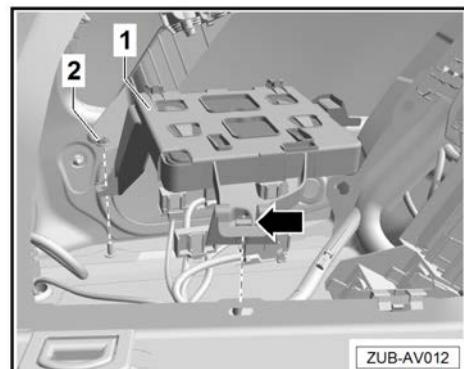
- ラゲージ コンパートメント フロア マットの取外し ⇒ ボディ内側取付け作業: Rep. Gr. 70; ラゲージ コンパートメント パネル; ラゲージ コンパートメント フロアの脱着
- サブウーファー -R211-の取外し - 装備バリエーション ⇒ 通信: Rep. Gr. 91; サウンド システム; サブウーファー -R211-の脱着

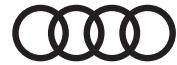


- ラゲージ コンパートメント フロア マットの取外し - 装備バリエーション⇒ボディ内側取付け作業; Rep. Gr. 70; ラゲージ コンパートメント パネル; ラゲージ コンパートメント フロア マットの脱着
- 前方荷台フロアの取外し - 装備バリエーション⇒ボディ内側取付け作業; Rep. Gr. 70; ラゲージ コンパートメント パネル; 前方荷台フロアの脱着
- リヤ リッド ライト カバーの取外し ⇒ボディ内側取付け作業; Rep. Gr. 70; ラゲージ コンパートメント パネル; リヤ リッド ライト カバーの脱着
- フックの取外し ⇒ボディ内側取付け作業; Rep. Gr. 70; ラゲージ コンパートメント パネル; フックの脱着
- リヤ シエルフの取外し ⇒ボディ内側取付け作業; Rep. Gr. 70; 車内パネル; リヤ シエルフの脱着
- 左右ラゲージ コンパートメント ライト -W3-の取外し ⇒電気系統; Rep. Gr. 96; ライト; 左右ラゲージ コンパートメント ライト -W3-の取外し
- ラゲージ コンパートメント サイド パネルの取外し ⇒ボディ内側取付作業; Rep. Gr. 70; ラゲージ コンパートメント パネル; ラゲージ コンパートメント サイド パネルの脱着
- リヤ バンパ カバーの取付けの概要⇒ボディ外側取付け作業; Rep. Gr. 63; リヤ バンパ; リヤ バンパ カバーの取付けの概要
- リヤ バンパ カバーの取外し ⇒ボディ外側取付け作業; Rep. Gr. 63; リヤ バンパ; バンパの脱着
- クラッシュ サポートの取付けの概要⇒ボディ外側取付け作業; Rep. Gr. 63; リヤ バンパ; クラッシュ サポートの取付けの概要
- クラッシュ サポートの取外し ⇒ボディ外側取付け作業; Rep. Gr. 63; リヤ バンパ; クラッシュ サポートの脱着

6.3 コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-用ホルダーの取外し

- 固定ナット-2-を緩め、外します。
- コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-用ホルダー -1- のリテーニング クリップを緩め -矢印-、コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-と共に引き上げて外し、脇に置きます。電気ケーブルは接続したままにしておきます。

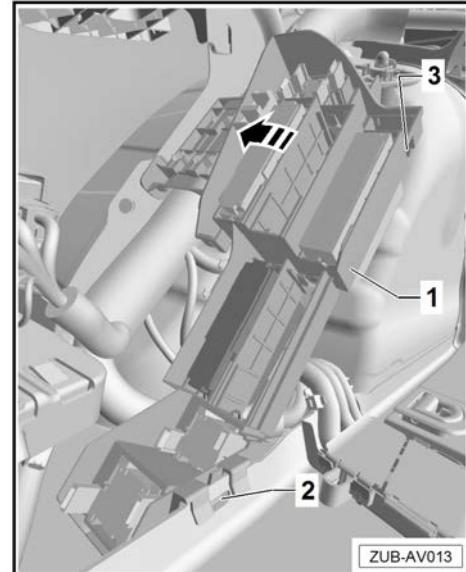




6.4 ラゲージ コンパートメント内左のヒューズ ホルダーの取外し

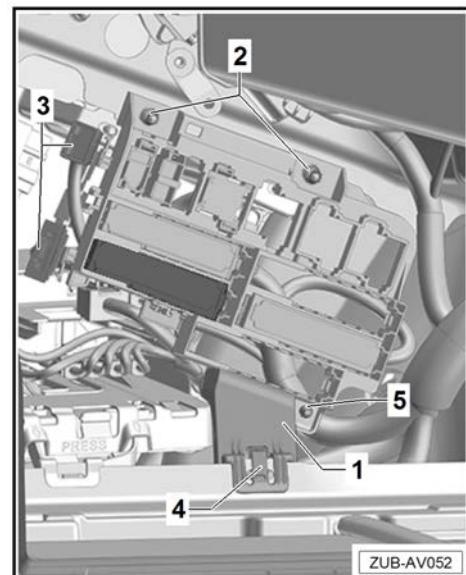
A5 Cabriolet を除く Audi A4/A5 に該当。

- ヒューズ ホルダー -1- の上部にあるナット -3- を緩め、リテーニング クリップ -2- をロック解除して、ヒューズ ホルダーを脇に置きます。電気ケーブルは接続したままにしておきます。



Audi A5 Cabriolet にのみ該当。

- 固定ナット -2- を緩めます。
- 電気コネクター -3- を外します。
- リテーニング クリップ -4 および 5- をロック解除して、ヒューズ ホルダーを脇におきます。残りの電気ケーブルは接続しておきます。





7 トレイラー用ソケットの取付け

全車両共通。

7.1 ソケットのソケット ホルダーへの取付け

開いたソケット ホルダーを装備したバリエーション

後付けケーブル ハーネス「ソケット」から側方ケーブル ガイド用ソケット シール -4- を慎重に剥がします。この場合、側方ケーブル ガイド用ソケット シール -4- は不要になります。

① 注意！

ケーブル ハーネスの絶縁チューブを傷つけないでください。

- 後付けケーブル ハーネス-5-「ソケット」をソケット ホルダー の開口部に通します。
- 後付けケーブル ハーネス「ソケット」のコンタクト インサート -2- を側方ソケット ハウジング -1- に差します。
- ソケット シール -3- をソケット ハウジング「軸方向」 -1- に押し込み、シール面にきちんと収まっていることを確認します。
- ソケット ハウジング「軸方向」 -1- をソケット ホルダー -5- に取り付けます。

閉じたソケット ホルダーを装備したバリエーション

- プラスチックをソケット ハウジングの側面にある点線に沿って切り取ります。

② 注：

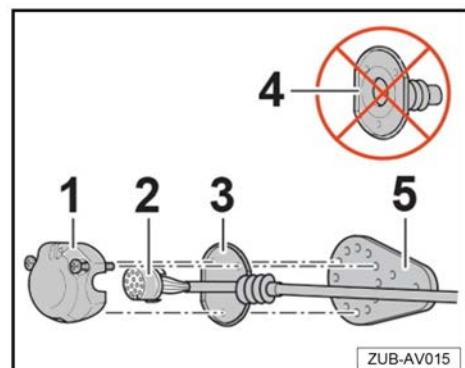
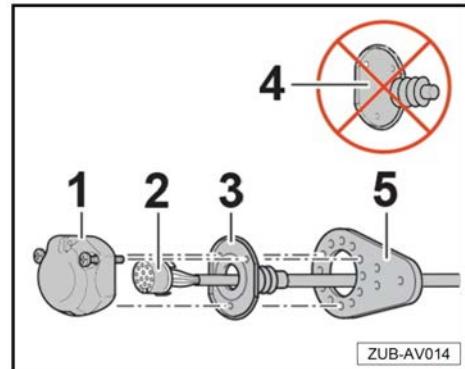
後付けケーブル ハーネス「ソケット」の取付け方向に注意してください。

- 後付けケーブル ハーネス「ソケット」から軸方向のケーブル ガイド用ソケット シール -4- を慎重に剥がします。この場合、軸方向のケーブル ガイド用ソケット シール -4- は不要になります。

① 注意！

ケーブル ハーネスの絶縁チューブを傷つけないでください。

- 後付けケーブル ハーネス「ソケット」のコンタクト インサート -2- を側方ソケット ハウジング -1- に差します。
- ソケット シール -3- を側方ソケット ハウジング -1- に押し込み、シール面にきちんと収まっていることを確認します。
- 側方ソケット ハウジング -1- をソケット ホルダー -5- に取り付けます。



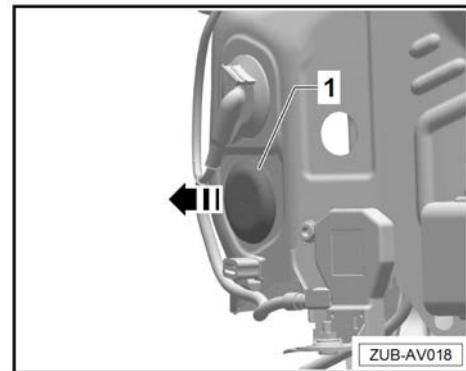


7.2 後付けケーブル ハーネス「ソケット」の車 内の取回し

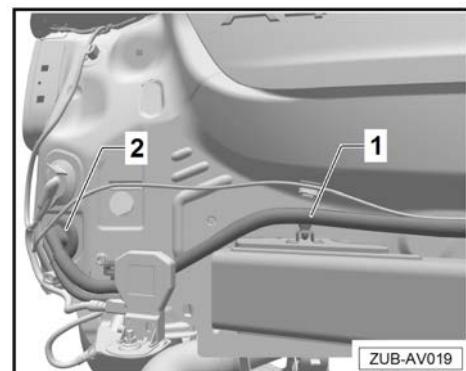
- ボディの左側配線穴のプラグ -1- を取り外します -矢印-。

[i] 注:

プラグ -1- は、トレーラー カップリングの取付け後、不要になります。



- 後付けケーブル ハーネス「ソケット」-1-をボディの配線穴に通し、ラバー スリーブ -2- を取り付けます。
- 後付けケーブル ハーネス「ソケット」を付属のケーブル タイ (300mm) でトレーラー カップリングのクロス メンバーに固定します。





8 電気接続

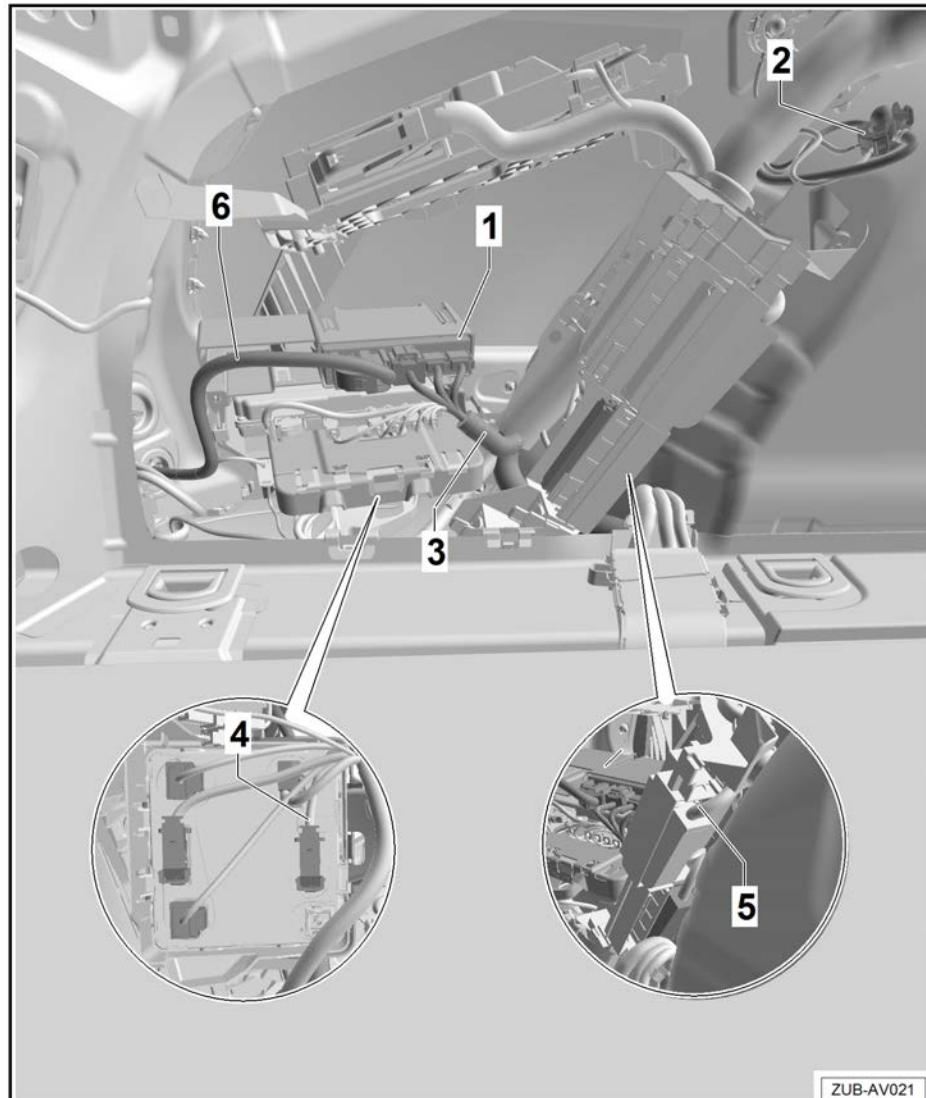
8.1 後付けケーブル ハーネスの取回し

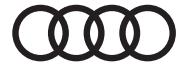
- 1 - トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-
- 2 - アース ボルト
 - ラゲージ コンパートメント左
- 3 - 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の取回し
- 4 - コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-
 - CAN バスの接続
 - ブレーキ ランプの接続
 - 端子 15 の接続
 - 端子 58s の接続
- 5 - リレー/ヒューズ ホルダー
 - パワー サプライのケーブル接続、ヒューズ ホルダー E
 - ヒューズ 5 : 25 A
 - ヒューズ 7 : 15 A
 - ヒューズ 8 : 25 A
 - ヒューズ 9 : 15 A

注:

装備バリエーションに注意してください。
⇒ページ 6

- 6 - 後付けケーブル ハーネス「ソケット」の取回し





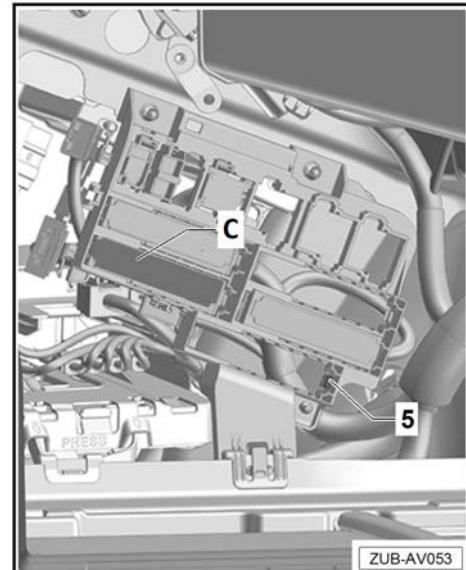
8.1.1 ケーブル ハーネスの取回し (Audi A5 Cabriolet の場合)

Audi A5 Cabriolet にのみ該当。

ラゲージ コンパートメント内左リヤのリレー / ヒューズ ホルダー -5-

ヒューズ ホルダー -C-

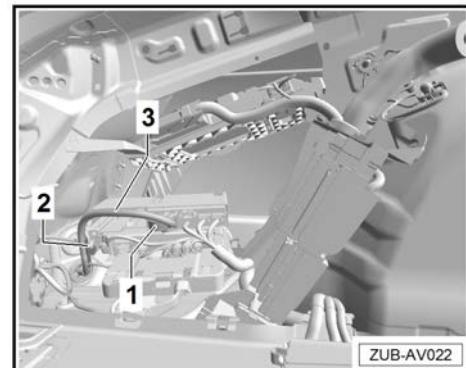
- ◆ ヒューズ 5 : 25 A
- ◆ ヒューズ 7 : 15 A
- ◆ ヒューズ 8 : 25 A
- ◆ ヒューズ 9 : 15 A



8.1.2 後付けケーブル ハーネス「ソケット」の取回し

全車両共通。

- 後付けケーブルハーネス「ソケット」-3- を付属のケーブル タイ -2- (150 mm) で固定します。
- 電気コネクター -1- をトレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345- に差し込み、ロックします。



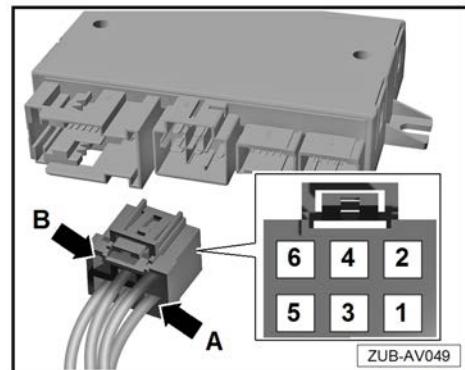
8.1.3 後付けケーブルハーネス「車内電源」の 6 ピン コネクターの準備

[i] 注:

8.1.2 の準備は、ピン 6 にケーブルが差し込まれていない後付けケーブルハーネス「車内電源」の 6 ピン コネクターにのみ該当します。



- 電気ケーブル（赤 / 黄）を後付けケーブルハーネス「車内電源」の 6 ピン コネクターのピン 1 -矢印 A- から引き抜き、同じ後付けケーブルハーネス「車内電源」の 6 ピン コネクターのピン 6 -矢印 B- に差し込みます。



8.1.4 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の取回し

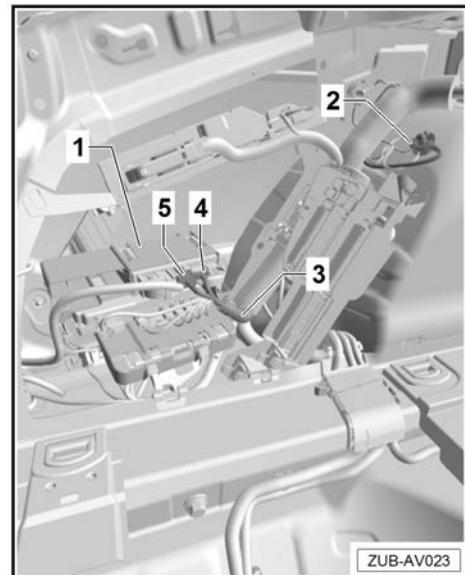
i 注:

後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」は、トレーラー カップリング用事前装備がない車両の場合にのみ取り付けます。

- 後付けケーブル ハーネス「車内電源」-4- の電気コネクター -5-、-3- をトレーラー ディテクション コントロール ユニット部 -J345- -1- に差し込みます。
- 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」-3- を車両側のケーブルに沿わせ、ケーブル タイで車両側のケーブルに固定します。

その際、ケーブルがずれたり擦れたりしないようにケーブル タイで固定してください。

- 緩んだヒューズ ホルダーを脇へ引き出し、ケーブルの電源供給部分とアース部分をその下へ取り回します。
- アースボルト -2- のナットを緩めます。
- 後付けケーブル ハーネス「車内電源」用アース線をアースボルト -2- に接続します。
- アースボルト -2- のナットをはめ、規定トルクで締め付けます **⇒ページ 7**。



8.2 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の接続

必要なスペシャル ツール、ワークショップ機器

- ◆ 取外し工具キット -VAS 1978/35-





8.2.1 コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット部 -J393-のコネクター割り当て

1 - コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット
-J393-

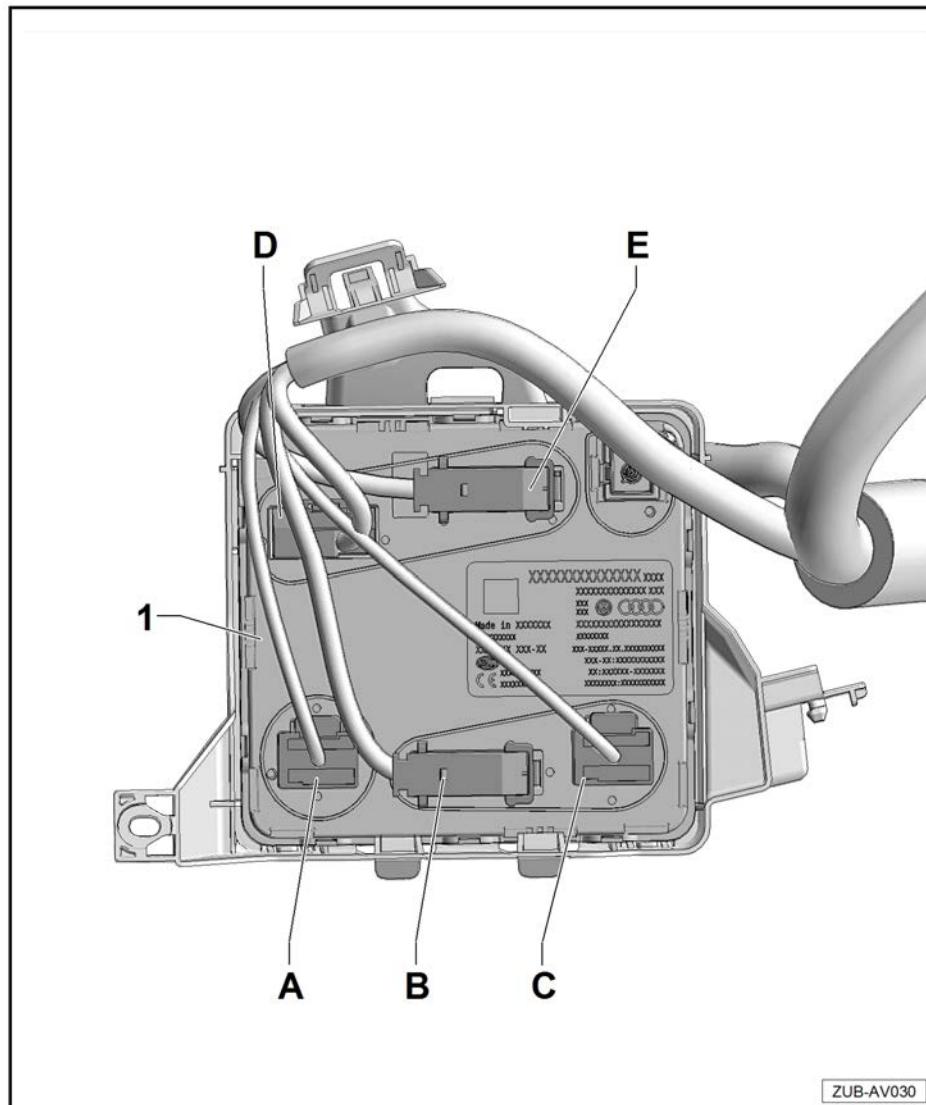
A - 17 ピン コネクター
(ブラウン)

B - 32 ピン コネクター
(ブラック)

C - 17 ピン コネクター
(ブラック)

D - 20 ピン コネクター
(ブラック)

E - 32 ピン コネクター
(ブルー)

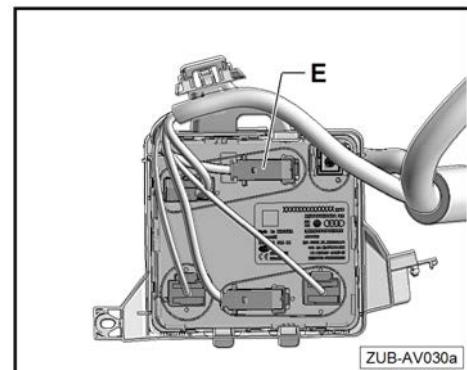


ZUB-AV030

JP

8.2.2 CAN バスの接続

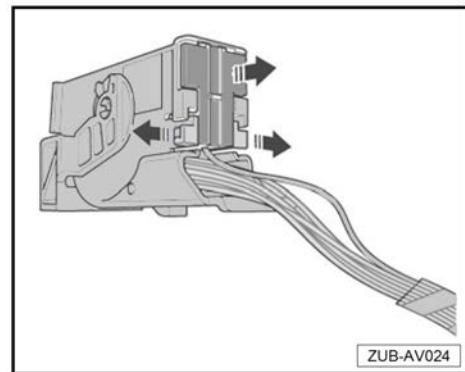
- コンビニエンス システム セントラル コントロール
ユニット部-のコネクター (ブルー) E -J393- のロックを解
除し、引き抜きます。



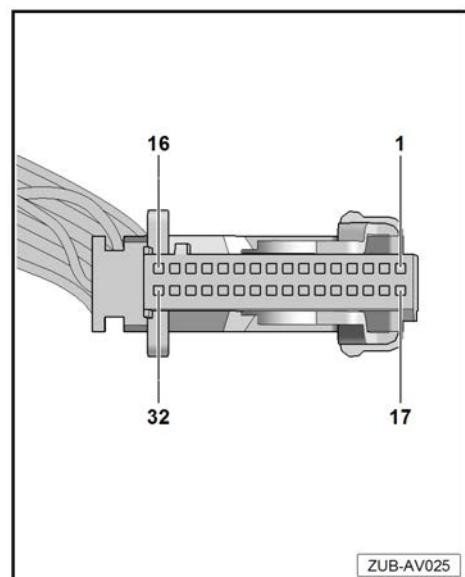
ZUB-AV030a



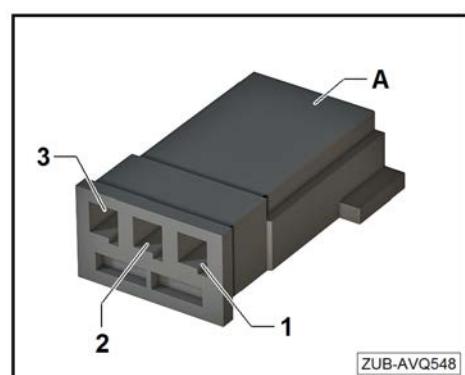
- コネクター ハウジング（ブルー）のラッチのロックを解除し -矢印-、接続ブロックをコネクター ハウジングから引き抜きます。



- 接続ブロックのピン -1- からコンタクトを外します。
- 接続ブロックのピン -2- からコンタクトを外します。

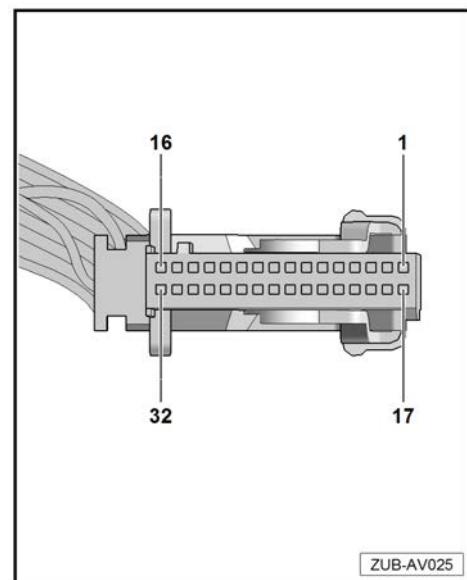


- 接続ブロックのコンタクト 1 を付属のブラックのソケットハウジング -A- (3 ピン) のピン -1- に差します。
- 接続ブロックのコンタクト 2 を付属のブラックのソケットハウジング (3 ピン) のピン -3- に差します。

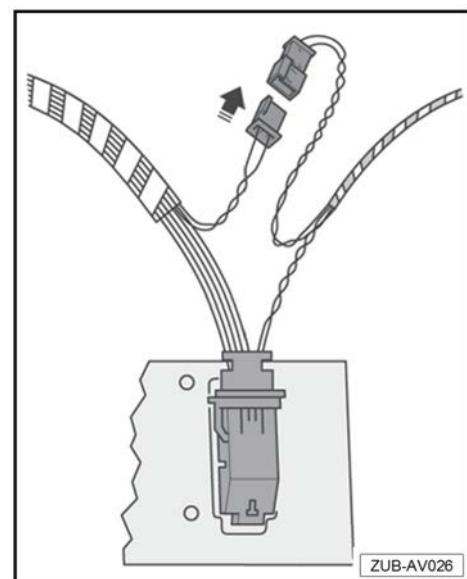




- 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」(Y ケーブル) の対応するコンタクトを接続ブロックのピンに差します。
- 後付けケーブル ハーネスの -オレンジ/ブラウン- のケーブルを接続ブロック (CAN バス low) のピン -1- に差し込みます。
- 後付けケーブル ハーネスの -オレンジ/グリーン- のケーブルを接続ブロック (CAN バス high) のピン -2- に差し込みます。
- 接続ブロックを青いコネクター ハウジングにはめ込みます。

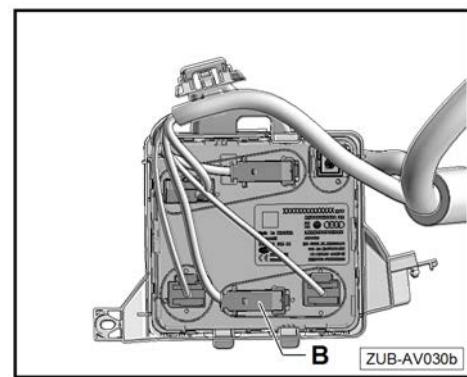


- ソケット ハウジング (ブラック) を後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の対応するブラックのコネクターに接続します -矢印-。



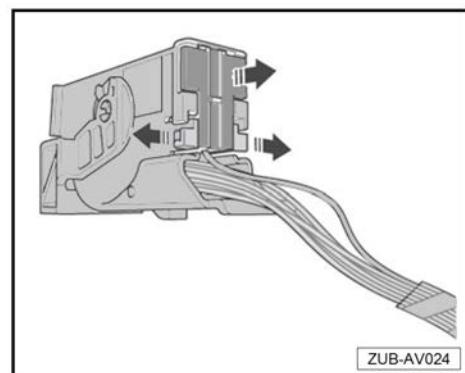
8.2.3 ブレーキ ランプ信号／端子 15 の接続

- コンビニエンス システム センタル コントロール ユニット部-で 32 ピン コネクター (ブラック) B -J393- のロックを解除し、引き抜きます。



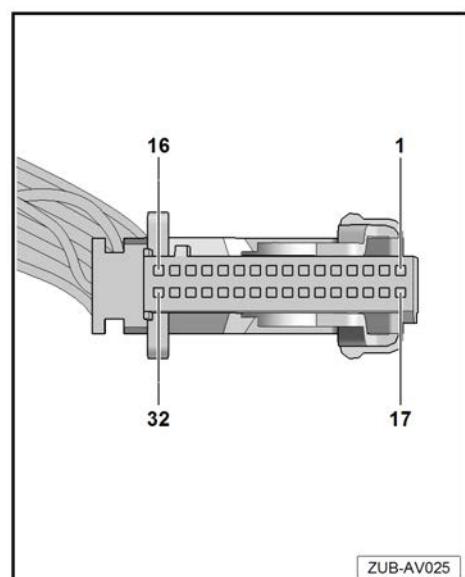


- 黒いコネクター ハウジングのラッチのロックを解除し – 矢印 –、接続ブロックをコネクター ハウジングから引き抜きます。



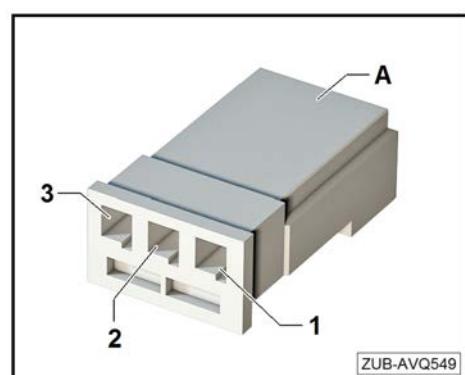
ZUB-AV024

- 接続ブロックのピン -12- からコンタクトを外します。
- 接続ブロックのピン -17- からコンタクトを外します。



ZUB-AV025

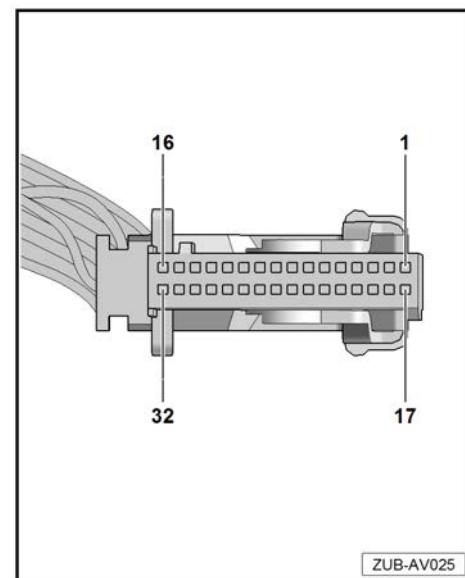
- 接続ブロックのコンタクト 12 を付属のホワイトのソケット ハウジング -A- (3 ピン) のピン -3- に差します。
- 接続ブロックのコンタクト 17 を付属のホワイトのソケット ハウジング -A- (3 ピン) のピン -1- に差します。



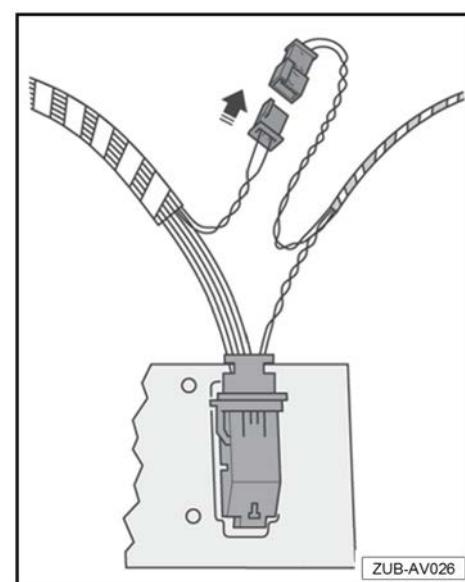
ZUB-AVQ549



- 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」(Y ケーブル) の対応するコンタクトを接続ブロックのピンに差します。
- -12-後付けケーブル ハーネスの -ブラック / レッド- のケーブルを接続ブロックのピンに差し込みます。
- -17-後付けケーブル ハーネスの -ブラック- のケーブルを接続ブロックのピンに差し込みます。
- 接続ブロックを黒いコネクター ハウジングにはめ込みます。



- ソケット ハウジング (ホワイト) を後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」の対応するホワイトのコネクターに接続します -矢印-。
- コネクター (ブラック) をコンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393-に差し、ロックします。

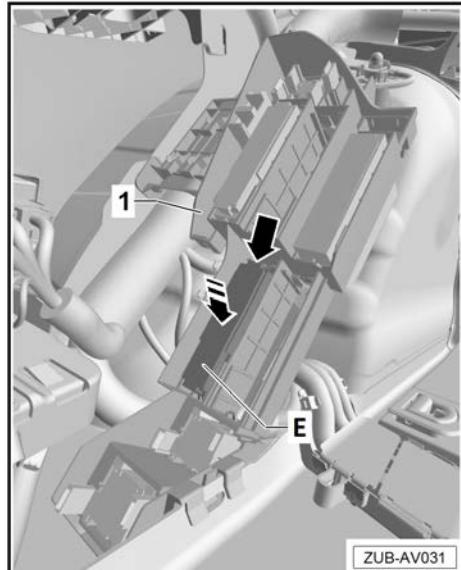




8.3 電圧供給の確立

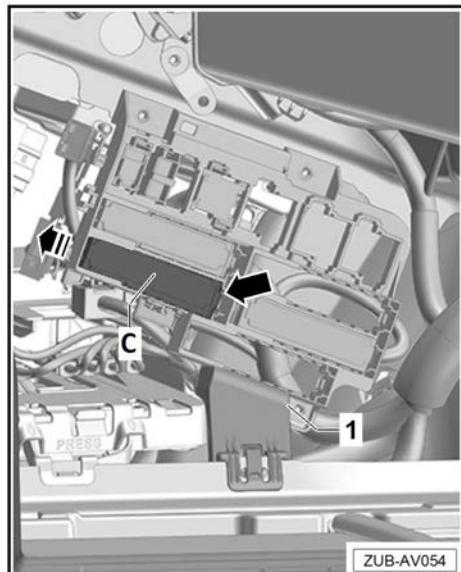
A5 Cabriolet を除く Audi A4/A5 に該当。

- ラッチ -矢印- のロックを解除し、ヒューズ ホルダー -E- をリレー / ヒューズ ホルダー -1- から下方 -矢印方向- へ取り出します。



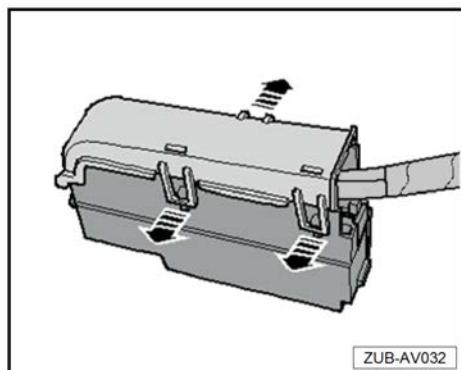
Audi A5 Cabriolet にのみ該当。

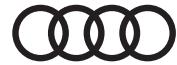
- ラッチ -矢印- のロックを解除し、ヒューズ ホルダー -C- をリレー / ヒューズ ホルダー -1- から後方 -矢印方向- へ取り出します。



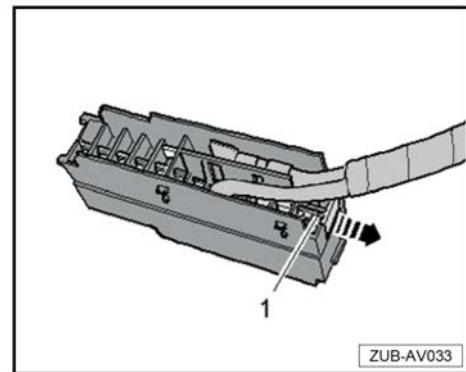
全車両共通。

- リテーニング クリップ -矢印- を外し、カバーをヒューズ ホルダーから取り外します。

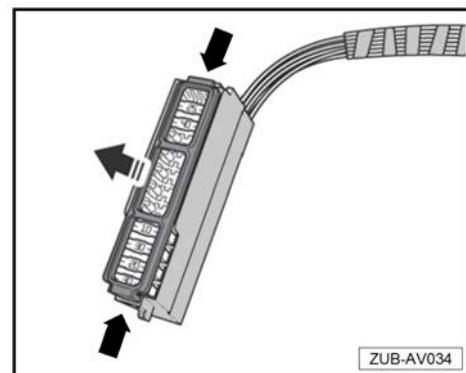




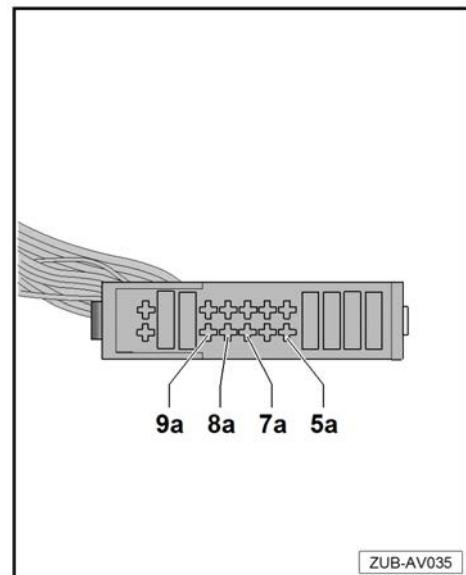
- コネクター用ホルダー プレート -1- を引き抜きます - 矢印-。



- ヒューズ ホルダーの紛失防止パーツのロックを解除し、引き抜きます -矢印-。



- 後付けケーブル ハーネス「車内電源」のコンタクトを、ヒューズ ホルダーのヒューズ端子 -5-、-7-、-8- および -9- に差し込みます。
 - ◆ ピン 9a : 赤色のケーブル
 - ◆ ピン 8a : 赤/青色のケーブル
 - ◆ ピン 7a : 赤/緑色のケーブル
 - ◆ ピン 5a : 赤/黒色のケーブル
- コネクター用ホルダー プレートをはめます。
- ヒューズ 5、7、8、9 を差します。
 - ◆ ヒューズ 9 : 15 A
 - ◆ ヒューズ 8 : 25 A
 - ◆ ヒューズ 7 : 15 A
 - ◆ ヒューズ 5 : 25 A
- ヒューズ ホルダーに紛失防止パーツを取り付け、ロックします -矢印-。
- ヒューズ ホルダーのカバーをはめ、ロックします。
- ヒューズ ホルダーをリレー / ヒューズ ホルダー -1- にはめ込み、かみ合わせます。



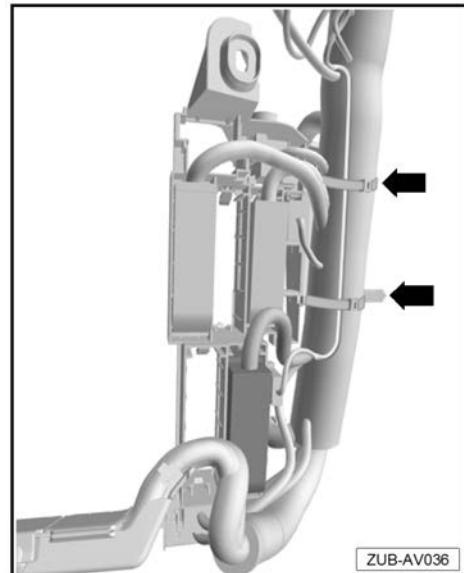
i **注:**

電気ケーブルを元の位置に戻します。

A5 Cabriolet を除く Audi A4/A5 に該当。



- 後付けケーブル ハーネス「車内電源回路」をケーブル タイで車両側のケーブルに固定します -矢印-。
- その際、ケーブルがずれたり擦れたりしないようにケーブル タイで固定してください。



全車両共通。

8.4 ホルダーとコンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393- およびトレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345- の取付け

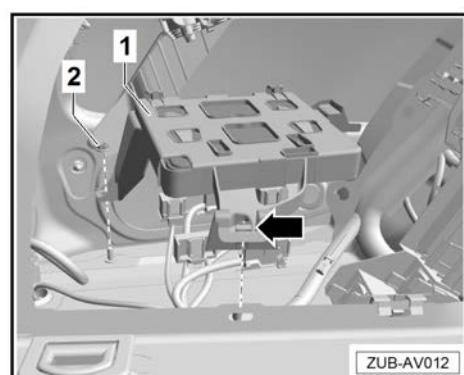
8.4.1 ホルダーとコンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393- の取付け

- コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393- をホルダーにはめ込みます。
- ホルダー -1- とコンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393- をガイド -矢印- にはめ込みます。

注:

電気ケーブルを元の位置に戻します。

- 固定ナット -2- をはめ、締めます。
- 固定ナット -2- の締付けトルクは 3 Nm です。

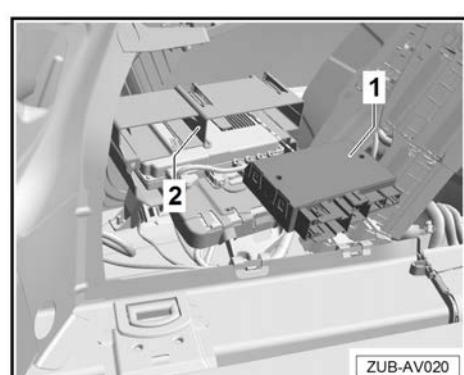


8.4.2 ホルダーとトレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345- の取付け

- トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345- -1- をホルダー -2- にはめ込みます。
- トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345- のホルダー -2- のラッチを コンビニエンス システム セントラル コントロール ユニット -J393- のホルダー -1- に当て、はめ込みます。

注:

電気ケーブルを元の位置に戻します。





9 最終作業

9.1 車両を元通りに完全組立て

構成部品の取付けは逆の順序で行います。各構成部品の“取付けのためのヒント”、およびそれぞれの締付けトルクに注意してください。

車線変更アシスタント装備車の場合、車線変更アシスタントを再度キャリブレーションする必要があります。

⚠ 警告！

車線変更アシスタント（アウディ サイド アシスト）装備車の場合、以下の点に注意してください：

- ◆ リヤバンパー カバーを取り外して再び取り付けたり、リヤ カバーに変更を加えたりした場合は、レーン チェンジ アシスト（アウディ サイド アシスト）のキャリブレーションが必要です ⇒ 電気装置；Rep. Gr. 96；、そうしないと、事故につながる恐れがあります。

9.2 バッテリーを接続する

- バッテリーの接続 ⇒ 電気系統；Rep. Gr. 27；バッテリー；バッテリーの取外し/接続

ℹ 注：

電源を再び接続した後、数メートル走行すれば *ESP* 警告灯が消えます。

9.3 トレーラー ディテクション コントロール ユニット -J345-のコーディングの調整

コーディングの調整は、⇒ 車両診断テスターで行います。これをオンライン接続する必要があります。

⚠ 警告！

有効化プロセスを開始する前に、自己診断にアクセスします。そこで、DA69 (AHV コントロール ユニット) のアクセス可能性を確認し、それによって、CAN バスが差し込まれていることを確認します。⇒ ページ 17

DA69 の自己診断で「エラー削除」コマンドを入力します。それによって、すべての電圧供給およびアースがあるかどうかを調べます。結果が正常でない場合、すべての電源供給ならびにヒューズおよびコンタクトを点検してください。

これを行わないと、結果コード FFP0707E が表示されます。

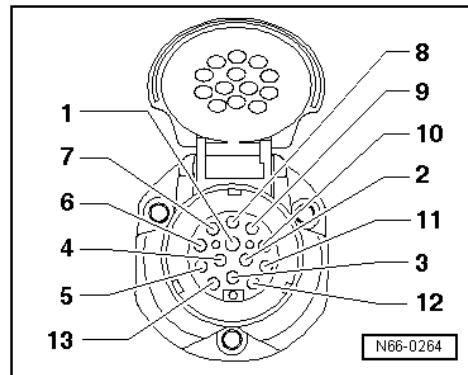
9.4 セットアップと機能点検

- トレーラー用ソケット -U10- の機能を、トレーラー ソケット検査装置 -VAS 5800- またはトレーラーを使って点検します。



トレーラー用ソケット -U10- のターミナル配列。

- 1 - ターミナル BLL (左フラッシング ライト)
- 2 - ターミナル NSL (リヤ フォグ ライト)
- 3 - ターミナル 31 (グラウンド) ターミナル 1~2, 4~8 用
グラウンド
- 4 - ターミナル BLR (右フラッシング ライト)
- 5 - ターミナル 58 R (右テール ライト)
- 6 - ターミナル 54 (ブレーキ ランプ)
- 7 - ターミナル 58 L (左テール ライト)
- 8 - ターミナル RFL (バックアップ ランプ)
- 9 - ターミナル 30 (バッテリー「+」) 最大電流 15 A
- 10 - ターミナル 15 (チャージ ワイヤー) 最大電流 15 A
- 11 - ターミナル 31 (グラウンド) ターミナル 10 用グラウ
ンド
- 12 - 空き
- 13 - ターミナル 31 (グラウンド) ターミナル 9 用グラウ
ンド



9.5 クーリング システムの調整

トレーラー モードは、エンジンのクーリングに高度な要求をす
るため、技術的に必要な場合は、工場でのトレーラー カップリ
ングの取付け時にクーリング システムが強化されます。

以下の限界条件下でしかエンジンに継続して負荷がかからない
ことを確認した場合にのみ、クーリング システムの強化を行う
必要がありません：

- ◆ 許容耐荷重を下回る
- ◆ 外気温が高くない
- ◆ 長く、急傾斜の坂道がない
- ◆ 高地での走行がない

いずれにしても、クーラントの温度表示には十分に注意してく
ださい。温度表示計の表示がかなり高温域に振れている場合
は、すぐに減速してください。緊急の場合は、冷却のために一
時停止してください。その場合、エンジンを約 2 分間、アイド
ル回転数で稼働させて、熱がこもるのを回避してください。